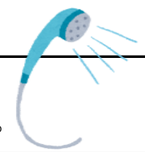
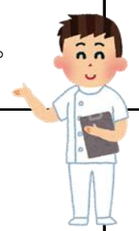
CPC充填術を受けられる患者さんへ

	手術当日 （帰室してから）	術後1日目	術後2 － 6日目	術後7 － 退院
目標	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 安静を守ることができる。 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 歩行器歩行ができる。 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。	歩行器歩行ができる。 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。	転倒なく病棟内杖歩行ができる。 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。
安静度	手術後はベット上安静です。 椎体内のセメントが固まるまでの手術後12時間は起き上がることができません。 全身のすくみ痛がある時などはベッドを0～30°あげることができます。 看護師の介助で横向きになれます。	コルセットをつけて歩行器で歩くことができます。		手術後7日目より歩行器から杖へ変更になります。
治療 処置			手術後2日目より、創の消毒が始まります。 術後の下肢の超音波検査で血栓が認められず、歩行がスムーズの行えるようになるとストッキングを外します。	手術後10～14日の間に創の抜糸を行います。 抜糸後はフィルムを外してシャワーに入れます。
輸液 （点滴） 内服薬	持続的に点滴をします。・ 	点滴は夕方に終了します。 朝より手術前に飲んでいた薬を再開します。		
検査	血液検査を行います。 	血液検査を行います。	術後3日目、6日目に血液検査を行います。 術後6日目に下肢の超音波検査で血栓の確認を行います。 術後6日目にレントゲン、CTの検査を行います。	術後10日目に血液検査を行います。 術後10日目にレントゲン検査を行います。
リハビリ	ベット上での運動を開始します。 血栓予防や足の筋力を保つために足首を動かして下さい。 また、本格的なリハビリ室での訓練も開始します。			
食事	当日は食べ物は食べてはいけません。	朝、お腹の動きが良ければ（ガスが出るなど）、飲水・食事ができます。		
清潔		看護師が体を拭きます。	手術後3日目から創部にフィルムを貼ってシャワー浴ができます。 シャワー時のコルセット着脱方法、注意点について指導を行います。	
排泄	手術室より、尿の管が入って帰ってきます。	コルセットをつけて移動ができるようになれば尿の管を抜きます。 トイレに行くことができます。		
説明	医師より手術についての説明があります。 痛みがある時は遠慮なく声をかけて下さい。 			転院や退院の方向性について主治医からの説明があります。 転院や退院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。
その他				保険関連の入院証明書などの書類は病棟事務員に渡してください。 退院おめでとうございます！